

円錐角膜の診断・治療のため、当院に通院された患者さんの診療録情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	眼科	職名	教授
	氏名	根岸 一乃		
	連絡先電話番号	03-5363-3821		
実務責任者	所属	眼科	職名	教授
	氏名	根岸 一乃		
	連絡先電話番号	03-5363-3821		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療録情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究について何かご質問やご不安のある方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2009 年 1 月 1 日より 2018 年 8 月 31 日までの間に、眼科円錐角膜外来にて、円錐角膜の診断を受けた方。

2 研究課題名

承認番号 20190222

研究課題名 人工知能を用いた円錐角膜の進行予測

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部眼科学教室・慶應義塾大学病院眼科

広島大学 大学院医系科学研究科 医療のためのテクノロジーとデザインシンキング

4 本研究の意義、目的、方法

・目的

今回の研究は、円錐角膜の方が初めて病院を受診された時に、その後に円錐角膜が進行するかどうかを予測する手段を見つけることを目的に行われます。具体的な研究内容は、円錐角膜と診断された患者様のうち、その後に進行した方と進行しなかった方の初診時のデータを人工知能を用いて解析し、今後の進行予測を行うことを目的としています。

・方法

年齢、性別の他に初診時に診療記録に記載されているデータ（既往歴、コンタクトレンズ装用の状態、診察した時の目の所見、自覚的屈折検査、眼圧、角膜内皮細胞検査、角膜屈折力、前眼部三次元画像解析装置など）を広島大学大学院医系科学研究科 医療のためのテクノロジーとデザインシンキング にて人工知能を用いて解析します。広島大学へ送付するデータは、個人情報完全に切り離し、誰のものか全く特定できないようにして送ります。この研究のために追加して行う検査はありません。また、今後も通常の手術後に行う定期検査や診察以外のために来院していただく必要はありません。

なお、本研究に必要な費用は、眼科学講座の研究資金によりまかなわれます。

5 協力をお願いする内容

円錐角膜の診療に関する診療記録、診断用画像（角膜内皮細胞検査、角膜形状解析検査など）

6 本研究の実施期間

倫理審査承認後～2021年3月31日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

根岸 一乃

160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学病院眼科

電話：03-5363-3821（月曜～金曜 9時～17時）

以上